



ことを学ぼうにもなかなか難しいのが実情です。生活数学シリーズにも関連する文献があります。これは、実際に方眼紙をもとにグラフなどを書かれるとより理解が進みます。読むだけでなく、手作業のよさを実感してほしいと思います。新しい学習指導要領では、それを「数学的な活動」と呼んでいます。まさに自分でかいたり、操作をすることで、何かを感じ得るものです。嘘だと思ふのなら、まず実際にやってみてください。「ああ、なるほど！そういうことだったのか！」と、きっと感じられると思います。でも、本を読みながら、作業をするのは、実際は難しいです。著者は、そのために、生活数学セッションという数学会を開いています。そこでは、この本の内容にも関連したことを実際の作業体験を通して理解を目指しています。興味のある方はぜひ参加されるといいと思います。

最後に、これから数学の先生を目指す学生、もしくは数学の先生になったばかりの教員は、ぜひ一度この本を手にとってみてほしいと思います。(2013.3.25)